

(案)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による

教育委員会の点検・評価

(令和4年度対象)

令和5年 月

富津市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	本市の点検・評価の概要	1
2	教育委員の活動状況	2
II	点検・評価	
1	学校教育の充実	3
	（1）教育総務課の取組	6
	（2）学校教育課の取組	8
	（3）教育センターの取組	10
	外部評価者による評価	13
2	生涯学習の充実	15
	（1）生涯学習課の取組	16
	（2）公民館等の取組	20
	ア 中央公民館	20
	イ 富津公民館・埋立記念館	22
	ウ 市民会館・峰上地区公民館	24
	外部評価者による評価	26

I はじめに

1 本市の点検・評価の概要

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、毎年、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう定められています。

また、同条第2項では点検・評価にあたり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、令和4年度の点検・評価が終了しましたので報告します。

市民の皆様は、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

(2) 報告書の構成

令和3年1月に新たな『富津市教育施策』が策定され、「学校教育の充実」と「生涯学習の充実」の2項目に分けて、それぞれ施策指標とそれに対する到達点を明示しながら、取組の実際と自己評価及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価

A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている。(一部に問題がある。)

C：事業の効果があまり現れていない。(多くの問題がある。)

富津市教育委員会

令和5年3月31日現在

職 名	氏 名
教 育 長	岡 根 茂
教育長職務代理者	嶋 野 和 正
委 員	坂 部 充 洋
委 員	藤 平 慶 子
委 員	池 田 亨

2 教育委員の活動状況

(1) 定例会議等・・・毎月開催、必要に応じて臨時に開催

- 4月21日 ・富津市社会教育委員の委嘱について 等
- 5月19日 ・令和4年度富津市一般会計予算6月補正予算（第2号）案について 等
- 6月23日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱又は任命について 等
- 7月28日 ・令和3年度教育委員会の点検・評価に係る報告書の作成並びに議会への提出及び公表について 等
- 8月18日 ・財産の取得について 等
- 9月29日 ・富津市中学校生徒交通安全対策事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について 等
- 10月27日 ・専決事項（後援申請）の報告について 等
- 11月17日 ・富津市立図書館の指定管理者の指定について 等
- 12月22日 ・令和4年度富津市教育委員会教育功労者の表彰について 等
- 1月26日 ・富津市電子図書館サービス実施要綱を制定する告示について 等
- 2月10日 ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について 等
- 3月29日 ・令和5年度富津市学校教育の指針を定めることについて 等

(2) 教育委員会協議会・・・教育委員会の検討、協議の場

- 5月19日 ・青堀小学校校舎改築事業について
 - ・富津市学校給食共同調理場基本設計について
- 6月23日 ・教育委員会の点検・評価（令和3年度対象）について
 - ・富津市立図書館条例施行規則（案）について
- 10月27日 ・佐貫小学校・環小学校の再配置について

(3) 総合教育会議・・・市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育を行うための諸条件の整備等、重点的に講ずべき施策等の協議・調整を行う。

- 9月29日 ・令和4年度重点的な教育施策の進捗状況について

(4) 教育長及び教育委員の研修等

- 6月29日 ・千葉県都市教育長協議会全体会
- 8月18日 ・君津支部教育研究集会全体会
- 11月中旬 ・第1回教育長・教育委員研修会（動画配信）
- 1月27日 ・第2回教育長・教育委員研修会

(5) 学校訪問

- 7月5日 富津中学校
- 10月20日 青堀小学校
- 11月22日 佐貫小学校

Ⅱ 点検・評価

1 学校教育の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和4年度)
きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数	外国人指導助手 (ALT) 3人	3人	3人
	自立支援指導員 4人	4人	5人
	適応指導相談員 2人	2人	2人
	指導補助教員 7人	10人	12人
	英語指導員 3人	3人	3人
	特別支援教育指導員 6人	7人	6人
	読書支援員 0人	3人	3人
	I C T支援員 0人	2人	3人
学力の向上 保護者アンケートによる「児童生徒が確かな学力を身に付けるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	現状値 (令和元年度) 88.8%	目標値 (令和5年度) 92%	到達点 (令和4年度) 80.7%
読書活動の推進 読書が好きな児童生徒の割合	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	令和4年度 (到達点)
	80.7%	86%	80.4%

富津市に愛着や誇りを持つ児童生徒を育む活動の推進	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	令和4年度 (到達点)
自分の地域を肯定的に捉えられる児童生徒の割合	88.6%	90%	92.4%
自分の地域の良さが回答できる児童生徒の割合	94.5%	96%	65.4%
健康教育の推進	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)	令和4年度 (到達点)
肥満傾向の児童の割合	12.3%	10%以下	13.8%
肥満傾向の生徒の割合	9.8%	8.5%以下	12.7%
歯垢が付着している児童生徒の割合	20%	15%以下	18.4%
学校を卒業した後も、自主的に運動やスポーツに取り組みたいと考える児童生徒の割合	75.8%	82%	84.2%

◎教育部全体での取組（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について市民に周知し、理解していただくために教育かわら版を平成20年度から発行している。

今年度で通刊58号を迎え、各刊を区長回覧し、併せて市ホームページに掲載した。

7月発行の56号は、運動会の報告や読書の日、熱中症予防について、スポーツ行事予定、給食用食材の放射性物質検査結果等、11月発行の57号は、夏季休業中の小中学生自習室について、ノロウイルスの注意喚起、図書リサイクル会の報告、指定された学校以外への就学について等、3月発行の58号は、「モルック」の紹介、市立図書館の開館、就学援助制度、学校給食における地産地消の推進について等、多種多様な内容の紹介に努めている。



56号（令和4年7月発行）



57号（令和4年11月発行）



58号（令和5年3月発行）

(1) 教育総務課の取組	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育振興費 (18,444,677円) ・ 育英資金貸付金事業 (0円) ・ 学校施設整備事業 (17,261,024円) ・ 青堀小学校校舎改築事業 (5,971,190円) 	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育振興備品 1,980,000円 教材備品 3,636,792円 図書備品 6,405,527円 等 工事請負費 11,185,724円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富津中学校空調設備改修工事 ・ 富津中学校武道場網戸設置工事 ・ 天羽中学校武道場網戸設置工事 ・ 大貫小学校職員室エアコン更新工事 等 委託料 5,588,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大佐和中学校屋内運動場屋根等改修工事設計業務委託 現況測量業務委託 5,830,000円 行政経営アドバイザー報償費 75,000円 等
<p>2 令和4年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育振興費 <p>予算の適正な執行管理に努め、国の補助制度も活用し、各学校の教材等の充実を図った。高額な備品等、限られた予算の中で全てを充足することは困難であることから、新たな調達の手法を検討する必要がある。</p> ・ 育英資金貸付金事業 <p>令和4年度は新規貸付の申請が無かった。</p> <p>利用実績が低いことから、育英資金の貸与上限額を引き上げる条例改正を行った。</p> ・ 学校施設整備事業 <p>学校施設は、コロナ禍における換気機能の向上を図るため、富津中学校保健室及び放送室、大貫小学校職員室、富津小学校保健室の空調設備の更新のほか、富津中学校及び天羽中学校武道場へ網戸を設置した。</p> <p>また、大佐和中学校屋内運動場の雨漏りを解消するため、屋根等改修工事の設計を実施したところ、既存躯体の構造耐力不足等により改修工事が事実上困難となり、設計を中止し、屋内運動場を改築することとした。なお、生徒及び教職員やその他利用者の安全を考慮して使用を中止し、改築を終えるまでの間、隣接する大貫小学校屋内運動場や他の体育施設を使用し、体育の授業、部活動や学校行事を行っている。</p> ・ 青堀小学校校舎改築事業 <p>新しい校舎の建設予定地の現況測量を実施するとともに、改築基本構想・基本計画の検討を行うため、学校、保護者、地域住民等の関係者により構成する検討委員会を設置した。検討委員会では、改築の基本方針、各教室の数や面積、配置計画等について、行政経営アドバイザー等の助言を踏まえて討議することで、合意形成を図っている。</p> 	

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・奨学金に関連する施策の調査・研究を進め、新規施策について検討する。
- ・各学校で保有する備品を有効に活用するため、備品台帳の整理・情報共有を図り、貸し借りのし易い環境を整備する。
- ・ふるさと納税の活用など、新たな備品の調達方法について検討する。
- ・現在大佐和中学校屋内運動場の使用中止により学校運営に支障が生じていることから、当該屋内運動場の早期建設を目指し、各工程を遂行する。
- ・青堀小学校校舎改築事業は、令和5年度に基本構想・基本計画を策定し、昨今の物価、資材費高騰に伴う事業費増加について財政部局と情報共有し、以降の行程を推進する。
- ・学校施設については、富津市教育施策に掲げる安全・安心な教育環境づくりに努めるとともに、「富津市小・中学校再配置計画」、「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、施設の老朽化対策及び教育の資質向上を図るため計画的な施設整備を実施する。

(2) 学校教育課の取組	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育指導員配置事業（10,832,210円） ・学校給食管理運営事業（131,564,394円） ・給食材料費（155,465,802円） ・原油価格・物価高騰対応学校給食費支援事業（873,782円） ・給食施設整備事業（101,675,337円） ・食育推進事業（1,481,053円）食育推進事業費 21,496円 小・中学校保健管理費 1,459,557円 ・学校における歯科保健指導事業（0円） ・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業（19,693,346円） ・特別支援教育児童・生徒就学援助事業（2,294,518円） ・学校教育活動体制整備事業【新型コロナウイルス感染症対策】（5,401,107円）等 	
<p>2 令和4年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育指導員配置事業 通常学級で過ごす特別な支援を必要とする児童・生徒のために、6人の指導員を非常勤で雇用し、延べ6校に派遣した。 ・学校給食管理運営事業 共同調理場2箇所（大貫、天羽）及び単独校調理場（青堀）の調理等業務並びに受配校への配送等業務を、民間会社に委託し継続して実施した。また、令和4年9月から公会計化を実施するため、学校給食費管理システムを導入し、学校給食費の徴収及び管理業務を学校から市へ移管した。更に、県の公立学校給食費無償化事業補助金を活用し、第3子以降学校給食費無償化事業補助金を支給した。 ・給食事業 年間193日の給食を実施し、児童・生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図った。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食材料価格が高騰する中、保護者の負担を増加させることなく、質・量を維持した給食を提供できるよう給食材料費を増額した。また、給食で提供する主な食材の放射性物質検査を行い、検査した延べ16品目全てで放射性物質は「不検出」だった。 ・原油価格・物価高騰対応学校給食費支援事業 原油価格・物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、市内小中学校の学校給食費について2学期の学校給食費を無償化するとともに、市内在住で市外の小中学校等に通う児童・生徒（27名）、市内小中学校で無償化の対象とならないアレルギー・長期欠席者等（23名）に、富津市原油価格・物価高騰対応学校給食費無償化事業給付金を支給した。 ・給食施設整備事業 令和2年度に策定した「富津市学校給食共同調理場整備基本計画」に基づく「富津市学校給食共同調理場の実施設計」が完了した。また、大貫小学校配膳室新築工事設計業務及び新共同調理場の整備事業に伴う敷地造成工事並びに埋蔵文化財発掘調査業務を実施した。 	

- ・食育推進事業

栄養教諭を食育指導員として、各小・中学校において食育指導（授業の実施・生活習慣病等の改善を要する児童生徒及びその保護者に対する個別相談等）を実施した。（食育指導員派遣回数 延べ44回。）

健康づくり課と連携し、令和2年度から中学2年生に実施しているHbA1c検査の結果が正常高値かつ肥満度20以上であった生徒のうち、保護者が希望した生徒を対象に、各中学校において、保健師・栄養士等による2型糖尿病発症予防指導を個別に実施した。（対象者66名中38名に実施）

- ・学校における歯科保健指導事業

健康づくり課と連携し、歯科衛生士により小学1年生を中心に歯科保健指導（染め出し等）を実施していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策により、児童数や手洗い場等の条件が整った2校で実施した。

- ・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業

準要保護児童・生徒として277人（前年度比+13人）を認定し、学用品費・給食費・通学費・医療費等の援助を行った。

- ・特別支援教育児童・生徒就学援助事業

特別支援学級在籍の児童・生徒73人（前年度比-2人）を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。

- ・学校教育活動体制整備事業

感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、学校における効果的な換気対策として、学校保健特別対策事業補助金（国1/2補助）を活用し、空気清浄機及び二酸化炭素濃度測定器などの換気対策備品等を整備し、感染症対策の強化を図った。

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・特別支援教育指導員配置事業

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、更なる充実を図る。

- ・学校給食管理運営事業

現在3箇所ある調理場を統合し、新共同調理場が完成するまでの間、既存調理場の安定した運用のため、施設及び厨房機器等に必要な維持補修、修繕等を実施する。また、学校給食費の徴収・管理業務については、口座振替未登録者への登録の依頼及び未納者への納付相談及び臨戸徴収を実施する。

- ・給食事業

安全・安心な給食の安定した継続のため、給食従事者研修の充実、食材の安全確保に努める。また、給食に使用する食材の地産地消を推進し、各調理場での取組を公表する。

- ・給食施設整備事業

新共同調理場の建設に向けて、敷地造成工事及び埋蔵文化財発掘調査業務を令和4年度から継続して実施し、「富津市学校給食共同調理場実施設計」に基づき、「富津市学校給食共同調理場建設工事」を開始する。併せて、大貫小学校配膳室工事管理業務及び吉野小学校配

膳室建設工事設計業務を実施する。

・食育推進事業

児童生徒及びその保護者が、生涯健康な生活を送ることができる環境を整えることを目的に、継続した指導が実施できるよう検討する。

・学校における歯科保健指導事業

感染症対策に留意し、感染状況によっては染め出しを行わないなど、内容を工夫して、歯科衛生士と連携した指導を実施する。

・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業

引き続き、経済的な理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を実施し、経済的負担の軽減を図る。

(3) 教育センターの取組	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none">・学力向上推進事業 (16,780,041円)・教職員研修推進事業 (85,254円)・外国語指導助手配置事業 (12,217,000円)・ICT教育推進事業 (47,860,000円) 等	
<p>2 令和4年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <p>・学力向上推進事業</p> <p>市内全小中学校に、指導補助教員12人(小学校9人・中学校3人)を配置し、少人数指導の推進や個の課題に応じたきめ細やかな指導、適応指導教室での学習支援等を行った。また、全ての小学校で児童の学習のつまずきや困り感の解消と学習意欲の向上を図るために、主に低学年を中心とした希望者に、放課後学習教室を実施した。</p> <p>児童は、アンケートで「勉強をする場所として、放課後学習教室は役に立ちましたか」の問いに対して、96%が「とても役に立った・役に立った」と回答した。次年度は、放課後学習教室の全校実施が3年目となるので、指導内容の充実を図る。</p> <p>また、小中学校の新一年生の学習習慣を確立するため、「家庭学習の手引き」を配付しているが、令和4年度は、中学生版の内容を見直して配付した。</p> <p>なお、学力向上推進委員会では、重点を置いている「読むこと・書くこと」について、目標値を定め、その達成に向けて各学校で、読書量を増やすための工夫や、自分の考えをしっかりと持って書かせるといった授業改善など、対策を講じて取り組んでいる。</p> <p>令和4年度末の結果は、以下のとおりだった。</p> <ul style="list-style-type: none">○「読むこと」について、「『読書が好き、どちらかというが好き』と答えた児童・生徒の割合」小学生84%・中学生73%○小学生で「1日16分以上読書をする児童の割合」36%中学生で「全く読書をしていない生徒の割合」61%○「授業で黒板に書いてあることを書き写している児童・生徒の割合」	

小学生79%・中学生88%

○『自分の考えを書きなさい』と発問されたときに自分の考えをまとめて書くことができる児童・生徒の割合」小学生87%・中学生89%

以上のことから、読書が好きな児童・生徒を更に増やしていくために、一層の創意工夫と継続的な取り組みが必要である。

※「自分の住んでいる地域や富津市の良さは何ですか」の問いについては、昨年度から30.6%下がり、65.4%となっている。今年度から、タブレットを使用しての回答としたため、記述するための文字入力技術の習得が追いついていないという要因も重なり、低下したと考える。

・教職員研修推進事業

令和4年度の夏季教職員研修会はGIGA・プログラミングの推進・教育相談・国語・図工美術・富津市を学ぶ等の12講座を開設し、延べ246人の参加があった。本研修会は希望制で実施しており、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、各会場で研修を実施した。

若年層教員が増えている今、教員の指導力向上に向けて、研修のニーズに応えられるように努めた。

・外国語指導助手配置事業

今年度も3人のALTを全小中学校に派遣し、授業等で活用できるように配置した。

また、英語教育推進事業では、小学校の外国語科・外国語活動に、3人の英語指導員を継続して配置し、ALTとともに担任の指導を補助し、授業の充実を図った。

・ICT教育推進事業

ICT教育の環境が整い、1人1台の情報端末を活用した学習活動を実施した。教職員が、積極的にICTを活用した授業を展開することができるよう、夏季教職員研修会では基礎編と応用編に分けて実践研修を行った。また、各学校で校内研修会等を通じて、アプリ機能の理解、授業での活用事例を共有した。

また、ICT支援員を3人配置し、各校に訪問（半日×7回/月程度）して授業支援やICT環境整備支援を行った。

・富津市通学路安全対策協議会

児童生徒の登下校時における通学路の安全確保に向けた取組を関係機関（富津警察署、国・県道路関係者及び市関係部署、PTA代表等）が連携して推進し、各学校から報告のあった通学路の危険箇所の合同点検を行い、改善策等を協議し、対策を実施した。

その他、生徒指導・教育相談体制として、自立支援指導員5人を小学校3校・中学校2校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に継続配置した。また、引きこもりや不登校、家庭内暴力や発達、障がいなどに関する悩みについて、心療内科精神科の専門医による相談を実施し、8件の相談があった（前年度比－2件）。

県配置のスクールカウンセラーは、配置日数に差はあるが年度途中から全小中学校に配置され、相談件数は延べ1,079件（前年度比－140件）であり、教育センターへの電話及び来所による相談は21件（前年度比－8件）であった。教育センターでの「いじめ相談メール」

については、QRコード付きのカードを全児童・生徒に配付し、友人関係や学校生活についての悩みがある場合の相談方法について周知した結果、令和4年度は3件の相談があった。今後も児童生徒の学校生活を充実させるために、学校と連携して努力する。

○今後の取組の方向性（改善策等）

・学力向上推進事業

「読むこと」「書くこと」の取組を継続させ、特に読書活動の推進に重点を置く。具体的には、読書好きの子どもを育てることを大切にする。

また、読書の日の設定し、読書活動を推進するとともに、読書支援員を有効活用できるように支援を行う。

市内全小学校での放課後学習教室については、更なる内容の充実を目指す。

・教職員研修推進事業

若年層教員が増加しているため、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、体制を整備し、ニーズに合った研修の充実に努める。

・ICT教育推進事業

ICTを活用した学習環境は概ね整ったので、今後はICTを活用した授業改善を進め、文部科学省が掲げる「個別最適化された学び」を実現するための授業改善を一層図っていく必要がある。また、機器を導入してから年数が経過し、端末の経年劣化による故障なども考えられるので、適切な運用を継続する。

今後も、教育センター職員がきめ細かな学校訪問等を通して、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員の指導力向上などの様々な側面から支援を行う。

外部評価者による評価

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

学校施設整備事業では、大佐和中学校体育館の改築が喫緊の課題となっているとのことだが、体育指導や部活動の場の確保についても工夫をいただいていることがうかがえます。また、青堀小学校の改築や新共同調理場の整備については、今後の進捗に期待しております。その他の学校施設の老朽化に対して今後どのように対応していくのか教育委員会と首長部局との間で横断的な検討体制を構築し、学校施設の適正規模・適正配置や複合化・共用化、管理運営・維持管理の見直し等の検討等を行っていただき、短期・中期・長期の整備計画を示すことも必要であると考えます。

育英資金貸付事業については、貸付にこだわらず、広く市の発展に寄与する若い人材を育てる先行投資としての視点で魅力あるものにしていただければと思います。

富津市の中でも相対的貧困層が増えていることが、要保護・準要保護児童生徒の認定数の増加からも窺えます。このような児童生徒に様々な視点からの支援による教育格差の是正が必要になってくると思いますが、放課後学習教室の取り組みや指導補助教員 12 人の配置などは今後も継続していただきたいと思えます。さらに、児童・生徒数が減少傾向にあるにもかかわらず、特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にある中で、特別支援教育指導員の配置については、不十分ではないかと思えます。各学校のニーズに応えられるよう人数の確保をお願いしたいと思います。

I C T 教育に係る環境が整う中、I C T 支援員の配置により教職員の情報機器の活用と授業改善に大いに期待でき、これからの社会を生き抜く子どもたちにとってとても有意義であると思えます。今後も学習指導を通じて、どのような「資質・能力」の育成を目指すのかを明確にししながら、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力など」、「学びに向かう力、人間性など」の 3 つの柱を中心とした教育が推進できるよう教育委員会としてのマネジメントをお願いいたします。

また、コロナ禍で制限されていた学校の外に出て行う体験的な活動も子どもたちにとっては大切な学びであると思えますので、I C T 教育とのバランスを保ったマネジメントを教育委員会としてお願いしたいと思います。

更に、教職員の働き方改革についても教育委員会としての取り組みが求められていることと思えますので、県教育委員会との連携のもと、積極的に進めていただき、教職員の優秀な人材確保を今以上にお願いするところです。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

「学校教育の充実」に向けては、教育総務課、学校教育課、教育センターにおいて様々な取り組みが進められていることが確認できました。

令和4年度において、学校における効果的な換気対策として、国庫補助を活用し、空気清浄機及び二酸化炭素濃度測定器などを整備し、感染症対策を強化されたことは喜ばしく思います。

一方で、学校施設の老朽化から様々な不具合が発生し、対応に苦慮されているように思います。学校施設は、児童生徒が多く時間を過ごす極めて重要な施設であるので、引き続き安全で安心できる施設の維持・改善に努められるとともに、現在進められている新共同調理場が計画どおりに進行するようにお願いします。

教育施策の施策目標と到達点を拝見しますと、「きめ細かな指導のために配置する指導員等の人数」では、目標年度における目標を達成、あるいは超える指標も見られていますので、引き続き体制の確保をお願いします。

「学力の向上」では、保護者の評価が年々低下しているようです。どのような点が不足しているのか、課題を整理し取り組まれることを望みます。

また、重点としている読書について、「読書活動の推進」に伸び悩みが感じられますので、向上に向けた取り組みに期待いたします。

他の項目についても、全ての目標達成には難しいように見えますが、目標値にできるだけ近づけられるように、引き続き工夫をしていただきますようお願いします。

2 生涯学習の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和4年度)
学び、生かす生涯学習の推進			
公民館・市民会館利用者数	96,475人	100,000人	52,287人
人材バンク「まちの先生」の利用件数	62件	70件	46件
図書利用冊数	31,416冊	32,000冊	32,472冊
家庭教育への支援と連携・協働の推進	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和4年度)
放課後ルーム開設数	1箇所	4箇所	3箇所
青少年相談員連絡協議会事業の参加者数	1,075人	1,100人	1,810人
文化財の保存・活用と文化芸術活動の推進	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和4年度)
指定・登録文化財の件数	85件	87件	87件
文化財来訪者数 (市案内分)	466人	500人	450人
市民文化祭参観者数	14,271人	18,000人	9,126人
スポーツ・レクリエーションの振興	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	到達点 (令和4年度)
スポーツ関連の行事参加者数	13,730人	14,000人	4,173人

1 主な事業と決算見込額

- ・生涯学習推進事業 (3,080円)
- ・生涯学習バス運営事業 (5,707,193円)
- ・図書館関係事業 (9,301,434円)
- ・図書館整備事業 (335,327,940円)
- ・ブックスタート事業 (153,505円)
- ・青少年相談員活動事業 (829,523円)
- ・青少年健全育成事業 (340,000円)
- ・文化財保護事業 (28,092,480円)
- ・市内遺跡発掘調査事業 (2,249,304円)
- ・公共工事発掘調査事業 (1,111,365円)
- ・富津市ふれあいスポーツフェスタ事業 (中止)
- ・社会体育振興事業 (3,414,828円)
- ・スポーツ少年団交流事業 (中止)
- ・市体育施設管理運営事業 (56,008,655円)

2 令和4年度の取組の概要と効果(成果・課題等)

・生涯学習推進事業等

市民の多様な学習を支援するため、生涯学習に関する機会や行事を掲載した「富津市生涯学習情報提供誌」を作成し、市役所・公民館等の窓口で希望者に配布したほか、市ホームページや「ちばりすネット(千葉県生涯学習情報提供システム)」に情報提供し、周知を図った。

また、人材バンク「まちの先生」による学習支援を行い、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことも影響し、利用者は、46件・5,587人と増加した(前年度比+18件・+428人)。

・生涯学習バス運営事業

令和4年2月から2台体制の運行を開始したことにより、令和4年度は226回の運行・利用者5,156人と増加し、市民の生涯学習活動が活発となった。(前年度比+129回・+2,970人)。

・図書館関係事業

移動図書館を利用している保育所や学校での団体貸出が増え、減少していた貸出冊数は32,472冊まで回復した(前年度比+5,517冊)。

・図書館整備事業

令和3年度に策定した富津市立図書館整備基本計画に基づき、イオンモール富津(3階)に市立図書館を開館した。

図書の整備にあたり、企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング等を活用して寄附を募り、図書65,039冊を揃えた。

・ブックスタート事業

4か月児健診時に絵本を1冊贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心がふれ合う時間を持つきっかけを提供した。令和4年度は105人の赤ちゃんに絵本を贈った。

・青少年相談員活動事業

第50回富津市あすをきずく青少年のつどい大会として、鋸山において「チャレンジウォークのこぎり山」を開催し、大人・子ども合わせて39人の参加があった。

・青少年健全育成事業（子ども会活動事業）

子ども会ジュニアリーダー初級研修会として、君津亀山少年自然の家においてウォークラリーイベント研修、育成大会事業として、飯野コミュニティセンターにおいてビンゴ大会が行われた。感染症対策により活動が制限される中、子ども同士や、地域の大人たちとの交流を図り、子どもたちの健全な育成に貢献した。

・文化財保護事業

文化財周知板設置事業では、松翁院釈迦涅槃図（竹岡）、東明寺木造薬師如来立像（湊）の説明板の老朽化に伴い、付け替えを実施した。

文化財・文化財施設環境整備事業では、古墳等の草刈・樹木伐採等を実施した。

鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会事業では、令和3年7月に鋸山が日本遺産「候補地域」に認定されたことを受け、鋸南町との共同で設立した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会によって、鋸山シンポジウムの開催、有償ガイドの育成、域内小中学校での「鋸山の教室」の開催など、計12事業を実施した。

高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の生息環境調査を実施した。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や講演会などへの参加者は、450人（前年度比+300人）であった。

・市内遺跡発掘調査事業

個人住宅建設、小規模宅地造成に伴い、向原遺跡、富津陣屋跡、亀塚遺跡の計3箇所の発掘調査を実施した。

・公共工事発掘調査事業

市道浅間山線整備事業に伴い、加藤遺跡の発掘調査を実施した。

・社会体育振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツフェスタやドッチビー大会など一部のスポーツイベントが中止となったが、市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりができるよう、感染症対策を講じて、各種スポーツ大会やスポーツ教室を実施した。

富津市長杯争奪少年野球大会 67人（前年度比-3人）

富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 120人（前年度比0人）

第37回F T S少年剣道大会 221人（前年度比+221人）

「県民の日」記念第36回グラウンドゴルフ大会 78人（前年度比+9人）

「県民の日」記念第36回バドミントン大会 105人（前年度比-58人）

第26回F T S杯争奪少年柔道大会（中止）

第38回F T S杯争奪少年野球大会 70人（前年度比-3人）

第25回健康ウォークラリー大会 84人(前年度比+84人)
 君津地区スポーツクリエイション祭歩け歩け大会 180人(前年度比+180人)
 第38回F T S杯争奪インディアカ大会 12人(前年度比+12人)
 第28回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 35人(前年度比+35)
 第25回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 57人(前年度比+57)
 君津地区スポーツクリエイション祭(インディアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ) 45人(前年度比+45人)
 富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 61人(前年度比 0人)
 第7回ふれあいドッジビー大会(中止)
 ふれあいスポーツフェスタ(中止)
 第44回ママさんバレーボール大会 25人(前年度比+25人)
 第36回市民ハイキング(中止)
 第49回元旦歩こう大会 274人(前年度比+274人)
 第49回新春バドミントン大会 76人(前年度比+76人)
 第32回新春グラウンドゴルフ大会 69人(前年度比-3人)
 スポーツ教室(毎週土曜日) 2,594人(前年度比+772人)

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体を指定管理者として適正な運営に努め、市民サービスの向上を図った。

《令和4年度利用実績》

○総合社会体育館

メインアリーナ	887件・31,137人(前年度比-217件・-77人)
サブアリーナ	1,694件・7,394人(前年度比-17件・-23,743人)
トレーニングルーム	324件・381人(前年度比-84件・-150人)
会議室等	48件・358人(前年度比+31・+207人)

○富津運動広場 48件・498人(前年度比-26件・-336)

○新富運動広場 179件・9,115人(前年度比-9・-7人)

○浅間山運動公園

テニス等	731件・4,104人(前年度比-60件・-316人)
フットサル	13件・161人(前年度比-9・-10人)
野球	97件・3,584人(前年度比-10・-942人)

・小中学校体育施設開放事業

59団体 6,605日 129,939人(延数)(前年度比-1団体・+626日・+7,029人)

・第44回千葉県民マラソン大会(千葉日報社・富津市陸上競技会主催、富津市共催)

新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止となった。

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・生涯学習推進事業については、君津地域4市での推進大会への市民参加を促すとともに、生涯学習情報提供誌の発行や、「まちの先生」事業を継続して実施する。
- ・家庭教育指導員・支援員及び社会教育指導員による「放課後ルーム」や「学習サポート会」の活動を通じて、地域学校協働活動の推進を図り、空き教室を利用した地域住民の「活動の場所」や「居場所づくり」を目指す。
- ・図書館関係事業では、よりよい図書館サービスを提供するため、市立図書館を基幹館として、公民館図書室、移動図書館、学校等と連携を図りながら、図書施設の利用促進を図っていく。
- ・文化財保護事業については、各種開発から埋蔵文化財を守り、引き続き保護と継承に努め、保存と活用を図る。
また、開発により保存できない場合には、発掘調査による記録保存の策を講じる。
- ・史跡等公有地化整備事業では、内裏塚古墳の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての国史跡化を目指し、文化庁・千葉県など関係機関と調整を図る。
- ・鋸山については、引き続き鋸南町と共同し、日本遺産「候補地域」活用推進協議会で地域活性化のための各種事業を実施し、令和6年度の日本遺産本認定を目指す。
その他、文化財関係事業として、市内の文化財周知板の整備を進め、新設や老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、地域団体等の協力を得て説明板を設置し、市民や来訪者への周知に努めるとともに、市のホームページの充実を図るなど、広報活動に努める。
- ・社会体育振興事業では、スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等に、より多くの参加が得られるよう内容等を検討する。
また、身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。
- ・小中学校体育施設開放事業では、各団体の利用を調整し、健康増進、スポーツの振興を図る。

<p>(2) 公民館等の取組 ア 中央公民館</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営費 (17,563,094円) ・中央公民館学級・講座関係費 (451,086円) ・市民文化祭事業 (602,087円) 	
<p>2 令和4年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営 施設整備として、多目的室空調設備設置工事、浄化槽ばっ気ブロワ更新工事などを行った。 また、新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機3台、赤ちゃん休憩室1台の備品購入を行った。 ・中央公民館学級・講座関係 市民に幅広く学ぶ機会を提供し、人づくりや地域づくりを推進することを目的として、全14の学級・講座(前年度比-1)を開講した。 新規講座として「フラダンス教室」「シニアのためのスマホ・タブレット講座」を実施し、学級・講座全体の開催回数は100回(前年度比+20回)、参加延人数1,191人(前年度比+342人)であった。 ・市民文化祭事業 生涯学習活動の成果を発表し、親睦と融和を図り豊かな文化の向上と創造の心を養うことを目的として、文化祭参加者により組織される「富津市民文化祭実行委員会」の企画運営により、10月28日(金)から10月30日(日)の3日間、総合社会体育館・富津公民館(埋立記念館)中央公民館・市民会館の4会場で開催した。 令和2年度及び3年度が新型コロナウイルス感染症の影響により中止であったため、3年ぶりの開催となったが、その間に活動を休止していたサークル等も多く、参加者2,118人(前回比-851人)・来場者9,126人(前回比-4,173人)となり、大きく減少した。 	
<p>○今後の取組の方向性(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営については、個別施設計画の推進に向け、計画的な施設改修及び施設利用者への環境整備に努める。 ・公民館学級・講座関係については、市民へのアンケートを実施するとともに、幅広い年齢層を対象とした企画運営に努める。 ・市民文化祭事業については、「富津市民文化祭実行委員会」をサポートするとともに、コロナ禍の影響により活動が停滞した団体に対して積極的な活動を促すとともに、文化の普及・向上及び市民相互の交流を図る。 	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	いきいき健康体操教室	9	159	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある用具を使って、弱点を克服する体操を学び、グラウンドゴルフを行い、心身の健康増進を図る。
2	園芸教室	8	120	花や樹木の手入れや管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫駆除、生垣作りなどの園芸技術を幅広く学ぶ。
3	シルバー生きがい学級	4	39	高齢者問題や社会問題等の学習を通して、知識の向上と学級生同士の交流を図り、生きがいのある生活の手助けとする。
4	さわやか女性セミナー	6	116	女性を対象に、知識の向上、受講者相互の交流を深め、いきいきとした生活の手助けをする。
5	折り紙教室	8	49	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学習する。
6	キルト教室	10	97	キルトで作る小物入れや人形など生活に取り入れやすい作品づくりを学ぶ。
7	外国人のための日本語教室	24	142	在日外国人の方々が日本で生活するうえでの言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とコミュニケーションを取れるようにする。
8	子ども折り紙教室	4	142	和紙、折り紙の歴史を学びながら、折る楽しさ、折ってからも楽しめる折り紙づくりを行い、折り紙の世界を広げる。
9	フラダンス教室	8	89	フラダンスの基本のステップやハンドモーションを使って、ハワイミュージックや日本のポップスを楽しく踊ります。フラダンスは体幹を鍛えるのに最適な舞踊です。運動が苦手な方にも楽しくエクササイズしていただけます。
10	I C T教室	5	29	昨今の急速なI C T（情報通信技術）の発展によって、生活が大きく変化している中で、A IやロボットなどのI C Tがこれからの社会や生活にどのような影響を与えるのかを考える。
11	みんなのプログラミング教室	5	82	機材等を利用してプログラミングを自由に楽しく学びます。自分で学びたい言語を設定することもできます。
12	大人のわらべ歌講座	6	91	声を出す、体を動かす、頭で考える、に“笑う”も加わった、わらべ歌による心身のリフレッシュ講座。童謡、唱歌、わらべ歌の違いなど、奥深い魅力に触れることができる。
13	シニアのためのスマホ・タブレット講座	1	17	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。シニア向け。
14	こどもチャレンジ教室	2	19	家庭や学校と異なる環境で、自主性、創造性、社会性を育むチャレンジ的な体験学習を進める。
	合計	100	1,191	

イ 富津公民館・埋立記念館	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館管理運営費（26,308,879円） ・富津公民館学級・講座関係費（409,112円） ・成人式事業（753,699円） ・富津埋立記念館管理運営費（2,924,582円） 	
<p>令和4年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備として、ブラインド交換工事、非常用照明交換工事、空調設備設置工事などを実施し、新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機3台、赤ちゃん休憩室1台の備品購入を行った。 ・富津公民館学級・講座関係 <ul style="list-style-type: none"> 市民に幅広く学ぶ機会を提供し、人づくりや地域づくりを推進することを目的として、全15の学級・講座（前年度比-2）を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止があり、学級・講座全体の開催回数は90回（前年度比-4回）、参加延人員1,356人（前年度比+29人）であった。 ・成人式事業 <ul style="list-style-type: none"> 民法の改正により、令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、式典の名称を「成人式」から「二十歳の集い」に変更のうえ、二十歳代表による実行委員会の企画運営により、富津公民館にて、令和5年1月8日（日）に二十歳の集いを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 対象者410人のうち出席者285人で、出席率69.5%であった。 記念行事として「Futtsu Twenty（ビンゴ大会）」を実施し、また、中学3年生時に二十歳の自分宛に書いた「二十歳への手紙」を後日郵送した。 ・富津埋立記念館管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 来館者数は2,937人であった。 施設整備として、ホール天井ダウンライト照明修繕を実施した。 	
<p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館管理運営については、個別施設計画の推進に向け、計画的な施設改修及び施設利用者への環境整備に努める。 ・公民館学級・講座関係については、市民へのアンケートを実施するとともに、幅広い年齢層を対象とした企画運営に努める。 ・二十歳の集いについては、二十歳代表による実行委員会が「自ら作る二十歳の集い」として式典の企画運営を担い実施することとし、今後も実行委員会による企画運営を継続する。 ・富津埋立記念館については、施設の活用方法を検討する。 	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	東京湾学講座	11	329	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化・自然などを幅広く学ぶ講座で、探訪会も実施する。
2	高齢者教室	中止	中止	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るために、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
3	エコ・パッチワーク教室	8	108	エコ・リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせて使用し、パッチワークを学ぶ。
4	健康スクール	8	82	自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学ぶ。
5	陶芸教室	9	72	お皿や小鉢など、世界にひとつだけの「わたしの器」作りを楽しむ。
6	古文書を読む会	9	175	市内に伝わる古文書から、歴史について学ぶ。
7	ペーパーアート折り紙教室	8	78	指先を使うことにより脳の活性化を図るとともに、多様な紙を用いて、折り紙で季節の飾りや、ペーパーアートなどの作品作りを行う。
8	紙バンド手芸教室	8	111	古紙から再生される環境に優しい紙バンドを使い、趣味のバッグや小物などの実用品からアートとしてまで幅広い作品作りを楽しむ。
9	絵本読みきかせボランティア入門講座	4	25	絵本の読みきかせボランティア体験を通じて、読みきかせの楽しさやボランティアの喜びを学ぶ。
10	園芸教室	8	204	花や樹木の手入れや管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫駆除、生け垣作りなどの園芸技術を幅広く学ぶ。
11	富津探訪講座	5	50	史跡や文化財を見学しながら、市内各地区を歩き、ウォーキングを兼ねて、地域を再発見する。
12	趣味の体験教室	6	44	プリザーブドフラワー、ハーブ、ソープカービングなど、趣味通じて日々の生活を豊かにする体験講座。
13	子どもチャレンジ教室	1	19	日常で触れる機会の少ない体験学習を通じて、挑戦する心、自主性、創造性を育み、仲間づくりについて学ぶ。
14	ポールウォーキング教室	5	59	足腰の弱い方でもポールを使った負担の少ないウォーキング方法を学び、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
15	わらべうた遊びと育ち合い教室	中止	中止	ミニ講座・わらべうた遊び・散歩などを通して親子の育ちを学びあう。
	合計	90	1,356	

ウ 市民会館・峰上地区公民館	教育委員会の自己評価 B
<p>1 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営費（49,181,473円） ・市民会館学級・講座関係費（239,021円） ・旧峰上地区公民館管理運営費（109,450円） 	
<p>2 令和4年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備として、空調設備改修工事、トイレ汚水配管改修工事等を実施した。 また、新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機3台、赤ちゃん休憩室1台の備品購入を行った。 ・市民会館学級・講座関係 <ul style="list-style-type: none"> 全15の学級・講座（前年度比－2）を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、最終的に10の学級・講座を開講した。 学級・講座全体の開催回数は49回（前年度比＋47回）、参加延人員597人（前年度比＋593人）であった。 ※令和3年度は新型コロナウイルスのワクチン接種会場となったため、主催講座を中止している。 ・旧峰上地区公民館管理運営費 <ul style="list-style-type: none"> 富津市公共施設再配置推進計画に基づき、令和4年3月31日をもって閉館した。 閉館後も施設内にパソコン等の備品が保管されていたため、回収作業が完了するまでの期間、警備業務委託を継続した。 	
<p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営については、計画的な施設改修等に係る個別施設計画の推進に向けて検討するとともに、計画的な施設改修及び施設利用者への環境整備に努める。 ・公民館学級・講座関係については、市民へのアンケートを実施するとともに、幅広い年齢層を対象とした企画運営に努める。 ・市民会館文化事業は隔年開催であり、例年であれば今回は令和5年度が開催年度となるが、令和3年度事業であったものが令和4年度（令和4年6月19日）に延期になったことから、今回は令和6年度に開催する方向で検討する。 ・峰上地区公民館は令和3年度末をもって閉館したため、令和5年度に建物の解体のための設計を行い、令和6年度に建物の解体を行う。 	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	9	153	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	エコ・スクール	7	80	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学習する。
3	和菓子教室	6	64	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学習する。
4	コーヒー講座	3	21	体に良いコーヒーの入れ方やお菓子に合うコーヒーの選び方、日常に使えるコーヒーについて楽しく学ぶ。
5	小筆教室	4	34	住所や名前など、生活に役立つ自分が習いたい文字を習う。
6	ディスカバーふつつ	4	56	「ふつつ」の良さ、すごさを再発見するための体験講座。各回15キロ程度歩く。
7	こどもダンス教室	中止	中止	リズム感を養い、音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
8	こどもチャレンジ教室	中止	中止	家庭や学校と異なる環境で、自主性、創造性、社会性を育むチャレンジ的な体験学習を進める。
9	お話の会（おはなしライブ）	中止	中止	幼児を対象としたお話会を開催し、親子がふれあうとともに同世代の親子が知り合う、また「読み聞かせ」や「絵本」に興味関心がある人など誰もが集える場を提供する。
10	ポールウォーキング教室	4	68	足腰の弱い方でもポールを使い手軽にウォーキングやストレッチをしながら全身運動をする。
11	健康料理教室	5	71	季節の食材を使い、主菜・副菜・デザートなどを料理する。
12	健康増進教室	4	37	健康で生き生きと生活できるすべを学ぶ。（健康な体づくり講座・ハイキング等）
13	シルバー生きがい学級	中止	中止	高齢化が進む中、レクリエーションや学習を通して、参加者どうしがふれ合い語り合う場をつくることにより、仲間づくりを進める。
14	シニアのためのスマートフォン講座	1	13	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。（シニア向け）
15	フォトスクール	中止	中止	カメラ初心者を対象とした撮影技術について、講義や実際の撮影を通して学ぶ。自身が所持するカメラ（デジカメから一眼レフまで）を持参。
	合計	47	597	

外部評価者による評価

外部評価者（I）の評価 B

生涯学習課の今後の取り組みの方向性として「地域学校協働活動の推進を図り、空き教室を利用した地域住民の「活動の場所」や「居場所づくり」を目指す。」とあるが、空き教室の利用によって地域住民がどのような活動を行うのか、また、それが学校とどのような協働となるのかを具体的に示し実践していくことに期待します。

市立図書館開館について、様々な創意の中で蔵書数を確保しながら、今年度より運営を開始されたことは大変素晴らしいことであると思います。さくら号が各学校にも訪問して貸し出しを行っています。今後は、学校教育の中でも図書館との連携による読書活動の推進も図ることができることと期待しております。

生涯学習バスが2台体制になったことによる利用者数の増大は、生涯学習の場の提供に大きく貢献していることがわかります。今後も市民の様々なニーズに答えられるような運営をお願いします。

体育振興事業は、令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大によって、中止をせざるを得なかった事業があったことは残念でしたが、感染症対策を講じながら開催することができた事業が前年度よりも増えたことで、市民の健康増進や体育振興を図ったことは大変よかったと思います。

各公民館、市民会館での講座や教室については、前年度に比べると中止したものが少なくなっており、少しずつ利用者も戻りつつあることがわかります。また、「外国人のための日本語教室」などの在日外国人を対象にした講座にも多くの方が参加していたり、富津の歴史に関する講座や園芸に関する講座に参加者が多かったりすることがわかります。

今後は、少子高齢化や「新しい生活様式」の中で、市民のニーズをアンケートによって捉えていくこととしていますので、今年度の講座や学級の開設に向け、このアンケートをどのように生かして魅力ある学習活動を提供したのかを説明できるようにしていただければと思います。

また、埋め立て記念館の来館者数は前年度に比べて1,200人（約1.7倍）ほど増えていることは喜ばしいことだと思います。活用方法の検討をされるとのことですので、さらなる来館者数の増加を期待します。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

「生涯学習の充実」に向けては、生涯学習課、公民館、市民会館において様々な取り組みが進められていることが確認できました。

生涯学習としてのスポーツ・レクリエーションの振興や公民館・市民会館で開催する講座については、感染症対策との関係から様々な苦心があったことと推察します。

残念ながら開催できなかった大会や講座については、次年度において素晴らしい行事として開催ができるように準備を進めていただけるようお願いいたします。

市民の皆さんが待ち望んでいた市立図書館が整備され、オープンを迎えられたこと、大変素晴らしいと思います。開館に向けて様々な財源確保の手段の検討、訪れた方に気持ちよく利用していただける配置の工夫など、市民の皆様が親しまれる図書空間ができました。今後も工夫を重ねていただき、多くの方に喜んで立ち寄っていただける空間となることを期待します。

日本遺産候補地域となった鋸山の日本遺産認定に向けた取り組みにおいては、鋸南町や関係組織と一体となって多様な取り組みを展開していることが感じられます。

認定に向けた事業展開では、調整段階において困難なことも予想されますが、関係者が一体となった継続的な取り組みが重要になるかと考えますので、引き続きの取り組みをお願いいたします。

教育施策の施策目標と到達点については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標達成には難しい項目もありそうですが、「図書利用冊数」など、令和4年度において達成した項目も確認できます。新型コロナウイルスの感染症としての位置付も変わり、次年度の取り組みに大いに期待しております。